

本レポートは、トルコ共和国経済省から提供されたデータや数値を元に、駐日トルコ共和国大使館商務部で作成したものです。記載されている内容、数値などは資料作成時点のものです。

また、無断での複製・転載・転送などをご遠慮願います。

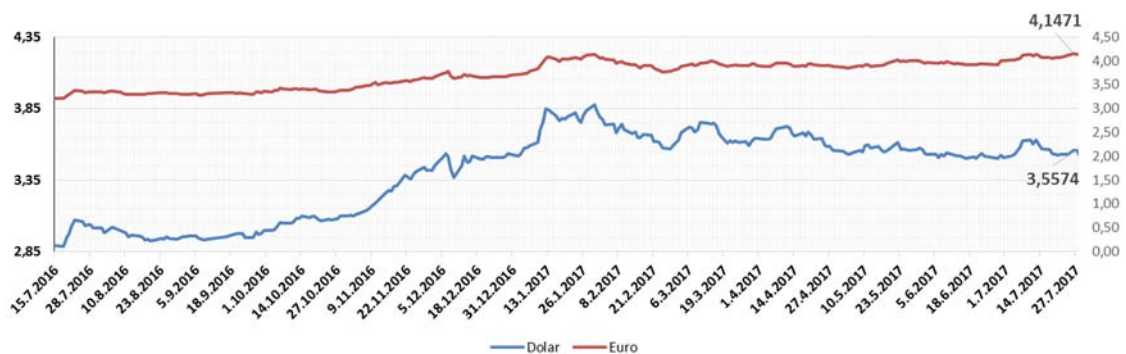
お問い合わせは、資料の最後に記載がある連絡先までお願いいたします。

【トルコ経済 基本情報】

<為替の動き>

2016年7月から2017年7月末までの為替の推移は以下の通りです。(図表1)

図表1 為替推移 (2016年7月15日～2017年7月27日)



出典：トルコ共和国経済省

今年に入ってから、しばらく下落の動きが続いていたトルコリラですが、その後は比較的安定して推移しています。

<その他の経済指標>

GDP 成長率

トルコ統計機構は2017年第一四半期の成長率について前年同期比5%増であったと発表しました。国際機関を含む様々な機関の予想を大幅に上回る結果となりました。背景には政府支出の増大がありますが、同時に家計支出も前年同期比5.1%増と伸びが続いている状況です。

5%の成長率はG20加盟諸国の中で、中国、インドに次いで第3位の結果でした。(インド

ネシアと同率)

イスタンブール株式市場の各月終値(BIST100)

2017年3月	: 88,947
2017年4月	: 94,282
2017年5月	: 97,541
2017年6月	: 100,401
2017年7月	: 108,392 (28日時点/前月比7.9%上昇)

BIST100 は引き続き上昇を続けています。

CDS プライム

7月15日のクーデター直後は前週比22.2%上がり、281.61を記録したCDSプライムは、7月28日現在、前月比5.9%減の182.89となっています。この値は2016年7月15日時点の値よりも低く、過去2年の最低値を更新し続けています。

トルコ経済信頼感指数

トルコ経済信頼感指数とは、トルコ統計機構が発表している指標で、消費者信頼感指数や生産者側の様々な指数を総合して算出される指数です。トルコ経済の将来を判断する上での基準となる指標で、100が基準となっており、100を越えると「明るい」と判断されます。

7月28日に発表されたトルコ経済信頼感指数は103.4と高い数値となりました。これは2013年11月以来の高水準です。今年の1月には85.9であったことを鑑みると、トルコ経済の回復に対する消費者・生産者の実感と期待が数字に表れていることが分かります。

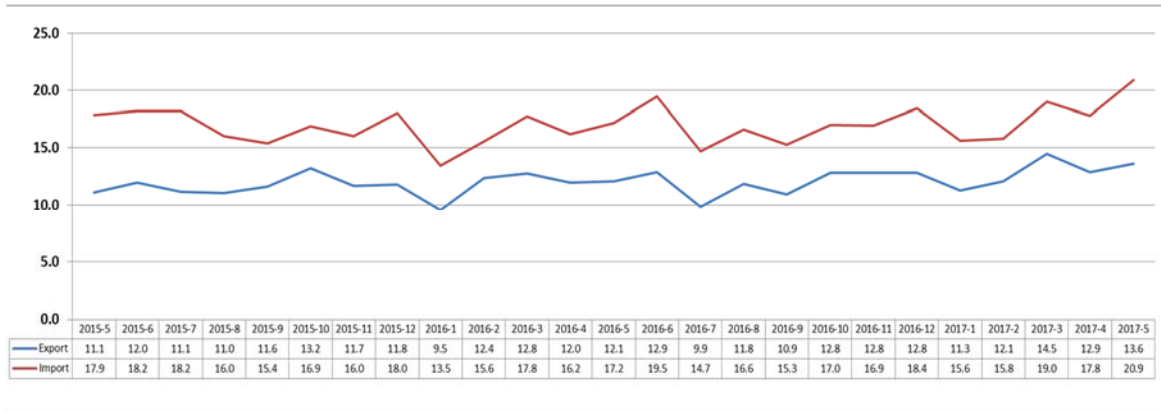
【貿易概況】

<貿易額推移>

2015年5月から2017年5月までの貿易額推移は以下の通りです。(図表2)

図表2 輸出入額推移

(単位：10億ドル)



出典：トルコ統計機構

トルコ輸出連盟によると、2017年第一四半期の輸出額は前年同期比9.2%増の379米ドルとなっています。7月1日～27日までの輸出額は前年同期比35.8%増の98億ドルです。

【直接投資概況】

トルコ経済省では、海外企業の投資に対するインセンティブ制度を設けています。減免税・社会保険料や利息に対する補助、土地の無償供与など多岐にわたるインセンティブが用意されており、様々な海外企業がこの制度を有効活用しています。

2017年1月～5月までに経済省に出された助成金申請の件数と、助成金対象となる投資の合計投資額は図表3の通りです。

(図表3) 2017年度1月～5月 外資企業参入に伴う助成金申請件数と投資額					
	1月	2月	3月	4月	5月
件数	18	22	33	30	30
投資額 (100万ドル)	517	274	800	344	186

出典：トルコ経済省

※上記投資額は、助成金制度の申請があった投資案件のみの合計額です。トルコへの直接投資全体の額ではございません。

5月末までに提出された助成申請133件のうち、97件は製造業、17件はサービス産業、16件は電気・ガス・水道、2件は鉱業、1件は農業に関する投資案件でした。

<日本企業による投資ニュース>

7月21日、総合商社の双日株式会社はトルコの大手建設会社ルネサンスグループと共同で事業会社を設立し、イスタンブルに建設予定のイキテリ (İkitelli) 総合病院の施設運営を行うことを発表しました。

トルコ保健省主導で進めている公立病院プロジェクトの一環で、総事業費2000億円の一大プロジェクトです。日系企業が施設運営に関与する単一の病院としては、国内外含め最大規模となるとのことです。

【数字でみるイキテリ総合病院】

敷地面積：100万㎡超	患者数：24,600人
訪問者：24,000人/日	患者付添人：2,000人
救急患者：4,100人/日	病床数：2,682床
医療従事者：4,500人	+ 病院スタッフ：4,650人 →合計1万人規模の雇用創出

建物全体で約 2,000 の免震装置が使われる予定で、この規模は世界最大です。

建設着工は本年 9 月、開院は 2020 年 10 月の予定です。

(双日株式会社 ニュースリリースおよび現地報道より抜粋)

【特集：トルコのテレビドラマ・番組産業について】

8月7日からCSチャンネルの「チャンネル銀河」でトルコのドラマ「オスマン帝国外伝～愛と欲望のハレム～（英題：Magnificent Century）」が放映されます。

トルコはテレビドラマ・番組の主要輸出国で、ヨーロッパやアフリカ、アジア、南米など世界75か国以上で約4億人がトルコドラマを視聴しています。その中でも多くの国に輸出され、世界を席卷した歴史ドラマが、ついに日本上陸という運びになりましたので、今回はトルコのテレビドラマ産業についてご紹介させていただきます。

トルコの地域別ドラマ輸出相手国（一例）は以下の通りです。

各国で字幕や吹替版のものが放映され、ドラマの中で役者の方々が着用している洋服やアクセサリーが海外でも注目されたり、トルコのロケ地を訪れる観光客が増えたり、と様々な波及効果があります。

欧州	中東・中央アジア	アジア	アフリカ	北中南米
ウクライナ	アゼルバイジャン	インドネシア	アルジェリア	アルゼンチン
オーストリア	アフガニスタン	韓国	エジプト	エクアドル
ギリシャ	アラブ首長国連邦	タイ	チュニジア	コロンビア
クロアチア	イエメン	台湾	モロッコ	チリ
スイス	イラク	中国	リビア	ブラジル
スウェーデン	イラン	日本	他	ペルー
チェコ	ウズベキスタン	ベトナム		他
ドイツ	カザフスタン	マレーシア		
ハンガリー	カタール	他		
ブルガリア	クウェート			
ロシア	シリア			
他	他			

<トルコドラマ 南米でのサクセスストーリー>

2013年、南米のテレビ局の視聴率ランキングで最下位に位置していたチリのテレビ局「Mega」が、トルコのドラマ「千夜一夜（One Thousand and One Nights）」を放映したことで、2014年のランキングでは最高視聴率を記録するテレビ局となりました。社会現象となった「千夜一夜」の放映をきっかけに、他の南米テレビ局もトルコドラマの放映を開始し、「Magnificent Century」をはじめ、「Wounded Love」「Time Goes By」など数多くのドラマが南米で人気を博しています。

<ドラマ以外の番組輸出>

近年ではドラマ輸出に加え、テレビ番組のフォーマットの輸出も盛んに行われています。フォーマットの輸出とは、トルコで放映された番組の構成やセットデザインなどがパッケージとして輸出され、それらをベースに輸出先の国で番組が制作されることを指します。トルコで過去に人気のあったお見合い番組「私のお嫁さんになってくれますか？」のフォーマットは世界40か国以上に輸出され、各国で制作・放映されました。

<アジアのドラマ トルコから世界へ>

トルコで制作されるドラマには、海外ドラマのリメイク版も数多くあります。日本でもファンの多い「デスパレートな妻たち」「ゴシップガール」「The O.C.」などはトルコ版としてリメイクされ、トルコでもヒットしました。近年では、韓国など東アジアのドラマも多くリメイクされるようになってきました。トルコと文化が似ている国々では、トルコの文化的要素を含んだリメイク版が好まれ、一旦トルコに輸入されたドラマが、形を変えてトルコから世界へ再輸出されるといったケースが増えています。

日本で2010年に放映されていたドラマ「Mother」も2016年にトルコリメイク版が作られました。リメイク版として南米や東欧への輸出が予定されており、今後トルコ版Motherとして世界に発信されます。

<オスマン帝国外伝～愛と欲望のハレム～>

主人公と公邸の恋愛模様や、宮殿の人間関係だけでなく、壮大なオスマン帝国の歴史についても学ぶことができるドラマです。

機会があればご視聴いただければと存じます。

【ドラマ 公式ページ (チャンネル銀河)】 <https://www.ch-ginga.jp/feature/ottoman/>

ドラマという、一般の方々にとっても親しみやすいツールを通して、トルコと日本の相互理解が進んでいくことが期待されます。

資料についてのお問い合わせ先： 駐日トルコ共和国大使館 商務部
担当：齋藤 (03-3470-6723/i-economy@turkey.jp)